2023年5月30日

各 位 殿

エコ＆セイフティ ハイウェイドライブチャレンジ実行委員会

第18回エコ＆セイフティ ハイウェイドライブチャレンジ事業計画

第24回スーパーマイレッジカーチャレンジ広島

１ 事業の趣旨と目的

過去23回開催しておりました「ーパーマイレッジカーチャレンジ広島」「エコ＆セイフティ ハイウェイドライブチャレンジ」は多くのご参加とマスコミ等のご紹介を頂き、より安全運転啓蒙活動に重きを置くとともに、ものづくりの定着に寄与してまいりました。

新型コロナ発生により、2020年から2022年までの開催は安全、衛生面から中止をしておりましたが、ようやく新型コロナもピークを越え、また主催者が一定の対策をとることにより、大会の開催が可能となってまいりました。

中止をしておりました三年間、各チームはより高いレベルでのものづくりに、努力してまいりましたが、その成果を示す場がなく、特に学生チームには大変残念な3年間でもありました。

本年は3年ぶり、第18回の大会として8月19日（土）・20日（日）の両日に広島県運転免許センターの高速体験コースにて開催したいと思います。

少しでも多くの方に体験・ご参加いただけるように夏休みの期間に開催し、従来同様に「第24回スーパーマイレッジカーチャレンジ広島」を組み込みます。この大会は県民・市民に広島県運転免許センターの高速体験コースを使っての高速道路安全運転技術の習得と、マイレッジカー記録大会を通し、環境にやさしい手作りエコカーについて学んでもらうことが目的です。

昨今、ものづくりは環境と密接に関わっています。特に「自動車」においては、電気自動車やハイブリッドカーをはじめとするエコカーが主流になり、様々な環境に対応する車も生まれています。これらの技術はエコカーとよばれるマイレッジカーの世界から生まれ、実証されている技術が多くあります。それぞれのアイデアは一気に市場に開放されるわけではなく、手作りのエコカーであるマイレッジカーで試行錯誤を繰り返され、技術的に検証されて市場にあらわれることは少なくありません。

実証の現場であるマイレッジカーチャレンジは新たな技術者を生み、育成する場でもあります。広島はものづくりの街でもあり、このマイレッジカーに対して関心がもたれ、中でも卒業等でチームメンバーの顔触れが変わる学生チームにとっては、特に技術の伝承の意味が大きいと思っております。

今年で24回目を迎える「スーパーマイレッジカーチャレンジ」は、当大会で世界記録を持つ、広島のファンシーキャロル号がさらに改善を加え４５００ｋm/Lを超える世界記録を目指すなど、世界屈指の大会として認知されているだけでなく、ここ数年参加をいただいているエタノール車やバイオディーゼル車、燃料電池車等々、幅広いエコカーのレギュレーションでの大会を目指しています。

この大会は各レギュレーションをカロリー計算で算定し、ガソリン車での燃費効率での尺度で評価をするユニークな大会です。また厳しい測定方法は全国的にも認知されており、毎回遠方から、正確な記録測定を求めて参加されるチームも加わっています。EV車種を含め、複数のレギュレーションの車種が、同コースで省エネの記録を算定する方法もさらに徹底し、ルールを確立したいと思います。このことにより広島が「ものづくり」の基盤を持つ都市であるということの認識をより全国にも広げたいと思います。

繰り返しになりますが、毎年広島県だけでなく、中国地方、九州の工業高等学校からご出場を頂いています。ものづくりの大きな課題である、環境にやさしい最高の機能を持つ車を、規定のスペックの中、手作りで作り、自らその評価の場であるコンテスト（レース）に関わることによる、「ものづくりの教育」の面における価値は大変大きなものがあり、技術交流、ものづくりの意識の啓蒙が図れる見込みです。

どれだけ先進的な車であっても、それを充分コントロールする運転者の姿勢が安全な走行の基本にあります。今回も先進の省エネカーを充分な技術力で安全に走行させる記録会もご覧頂くと共に、高陽自動車学校様にご協力を頂き、教習車で高速コースを走行いただくための安全な運転講習など、ハイウェイでの安全運転の意識向上を目的とした啓蒙事業を開催し、一人でも多くの方に安全運転に対する意識をお持ちいただき、より重大事故を減少させる一助にしたいと思います。

「スーパーマイレッジカーチャレンジ広島」は今年で24回目の開催となりますが、1993年に広島県交通公園、1995年に広島市交通科学館、その後2019年まで17年連続して広島県運転免許センターの高速体験コースで開催をしてきました。ものづくり教育と安全運転啓蒙の観点にテーマをおいている点から、大会委員長には学校法人鶴学園　広島工業大学の鶴衛理事長に就任を頂いております。

今年の大会は、「厳格な計測」「安全を確保した走路」「様々な車種での競技」「経験の浅いチームから世界的な記録を持つチームまでの参加」「技術交流」「参加者による手作りの運営」と、色々な魅力を持つ大会に成長しています。

２　主催

エコ＆セイフティ　ハイウェイドライブチャレンジ実行委員会

３　後援・協賛（予定を含む）

広島県教育委員会・広島市教育委員会・ＮＨＫ広島放送局・広島工業大学・マツダ

４　内容

（１）高速道路安全運転啓蒙事業の実施

高速コースを高陽自動車学校のご協力をいただき、体験走行していただきます。

（２）スーパーマイレッジカーチャレンジ広島　事業の実施

一人乗りの自作自動車でコースを定められた周回数走行し（約７ｋｍ）、平均時速２５ｋｍ/ｈ以上でどれだけ少ない燃料で走行できるかという記録を競います。全国および海外のマイレッジカーチームに参加を呼びかけます。（大会規則書　SHELL　ECOMARATHONに順ずる。燃料消費計測は全重量計測方式を予定。）

（３）マイレッジカー技術交流会

全国・海外のマイレッジカーチームの間の技術交流会を開催し、先端の技術等の意見交換や指導の場を作ります。また大学生や高校生等の学生チームへのマイレッジカー製作の指導・助言の場にいたします。

5　コンテスト参加資格

学生・一般チームを対象と致します。

見本となる安全運転を厳守できる事。また大会当日に大会競技規定の車検を通過する車両を準備することができる事と実行委員会で準備するイベント保険への加入を条件と致します。ドライバーは運転免許証保持者もしくは当実行委員会が8月19日に行うマイレッジカードライバー認定試験に合格したものとします。

尚、参加者以外は無料です。

6　募集方法

過去のスーパーマイレッジカーコンテスト参加者を含めてインターネットホームページ等で広報を行います。　http://www.fc-design.jp/monodukuri/

7　スケジュール

告知開始　　６月下旬

募集受付開始　７月　3日（月曜日）

募集受付締切　8月　１日（月曜日）（当日事務局到着分をもって締切ります）

当日スケジュール

８月19日（土）	９：００	受付　マイレッジカー車検開始
	１０：００	高速コース体験走行開始
	１２：３０	マネージャーミーティング
	１３：００	高速コース体験走行終了
	１３：００	走行練習開始
	１７：００	走行終了
20日（日）	９：００	ドライバーミーティング
	９：３０	記録会（各チーム3回）

１１：００　高速コース体験走行開始
１３：００　高速コース体験走行終了・記録会再開
１５：００　記録会終了・清掃
１５：３０　表彰式・記録発表　撤収
１６：００　解散

８　記録会各賞

最高記録賞　　賞状並びに副賞

９　実行委員会役員

大会委員長　鶴　衛　学校法人　鶴学園理事長
実行委員長　鈴木　俊哉　ヒロシマ・ピースセンター　理事
監　事　田上　克彦　高陽自動車学校社長
事務局(会計)　中根 久典
燃料計測長　藤井 俊成
燃料計測副長　渡部　雅晃
コース長　森　勝義
コース副長　中嶋　和人
車検長　沼田　泰光
車検副長　金子　智哉

10　会場

広島県運転免許センター内　高速体験コース（広島市佐伯区石内南三丁目１番１号）

日曜日は運転免許の更新手続きに来所される方が多いと思われますので、大会運営関係者、記録会参加者は内部の駐車場を極力使用せず、外部の駐車場を使用します。また過去の反省を含め、運営には一層の注意を致します。

11　参加申込み・お問合せ先

エコ＆セイフティ　ハイウェイドライブチャレンジ　実行委員会事務局　中根久典
広島県安芸郡府中町本町2-1-48藤本ビル1F　モノ作り推進協会
（担当　事務局　中根久典　勤務先 082-287-0211

携帯電話　090-7501-1337　メールアドレス info@fc-design.jp）